

平成 28 年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越教育大学食育推進ネットワーク事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 臨床・健康教育学系 教授・野口孝則
3 学外の連携機関等	農林水産省北陸農政局(経営・事業支援部地域食品課食育推進係), 新潟県(上越地域振興局), 新潟県学校栄養士協議会, 新潟県栄養士会(上越支部), 上越市(農村振興課・ものづくり振興センター), JA えちご上越(旬菜交流館あるるん畑), 上越市雪室推進プロジェクト, 大塚製薬株式会社新潟出張所, 株式会社ブルボン(健康科学研究所栄養科学研究室), 上越地域の農業・漁業・食品加工・飲食店・小売店等。
4 事業の趣旨・目的	平成 17 年の食育基本法制定以来, 保育園や学校で子どもを中心に食育が展開されてきたが, 平成 28 年 4 月からの「第 3 次食育推進基本計画」では「若い世代の食育推進」が主題として掲げられ, 地域食材(国産)の有効活用や世代を超えた食文化の継承が求められている。本事業は, 申請者がこれまでに実施した「地域連携による食育推進」の知識や技術を上越地域において展開し, 学生を中心とした「若い世代が食を通して活躍する世代間・地域交流ネットワーク」を構築する。上越の特産食材を有効活用し, 食育推進に関連した各機関・団体・企業・個人と連携しながら食を通じた地域活性化を実現し, 上越の食文化を学生と地域の若者が一緒に発信していく姿を見せていくことを目標とした。
5 事業活動報告	上越教育大学に「食育」を主体として取り組む学生団体を立ち上げ, 本事業の活動の中心とした。若手生産者との交流を図る農業や漁業の体験, 発酵・醸造等の食品加工の工場の見学等を通じて地元の食材や次世代に伝えるべき食文化を学び, 地域の食の専門家とともに地元食材を活用した地産地消料理レシピや新商品の開発を行った(本学食堂・売店, 大学祭, 上越地域のイベントや祭りへの出店, JA えちご上越あるるんの杜レストラン, 上越地域の飲食店・小売店等との連携を実施)。JA えちご上越との連携で, 地域の方々を対象とした食育講座を平成 28 年 8 月から毎月実施した。また, 食育 Club(食育に興味・関心のある小中高生向け公開講座)、公民館活動をする地域女性の方々との食育交流など、「地域と連携して積極的に食育に取り組む学生・若者たち」を広く新聞・テレビ等報道各社から広報してもらうことができた。さらに, 参加関連機関・組織・個人の HP や SNS による情報発信により「複合的に上越地域の食育の活性化を見せる」ことを念頭に活動することが出来た。
6 本事業で得られた成果	本事業の実施により, ①上越地域の農業・漁業・食品加工・飲食業等の活性化や新事業の展開, ②保育園・学校の給食や大学食堂における地場産品の利用拡大(地域食材の消費拡大による生産者の安定化), ③子どもから大人まで間断ない食育推進の実現(健康増進)等につながる姿を, 大学の学生発信型で提案することが出来た。 また, 本事業の実践的な取り組みを申請者担当科目(食教育特論・演習, 食と栄養, 食生活演習等)において地域連携の食育事例として取り上げ, 実態把握に基づく地域課題の発見・分析から改善策を提案・創造する能力の育成, さらには多世代交流による人間理解につなげることが出来た。
7 その他 (成果物等の名称)	